

今週のセルグループ (赤字)		1月17日(日)~1月23日(土)	
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉	1/17(日) 礼拝後	LINE 電話	1/10 2名 自分からでしか伝わらない人に伝えなさいと教えられました。
グレイス 鈴木千姉	1/22(金) 午後8:30	鈴木宅	1/8 4名 機会をとらえて、福音を伝えていきたい。まず自分が解放されなければならぬ。
Gospel 鈴木尚姉	1/24(日) 礼拝後	交わり	1/10 2名 受け入れない心には恐れがあったと気付いた。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	1/10 9名 父母の所へ行く事を面倒がらずに時間を割いて福音を伝えていこうと思われました。
からし種 磯貝姉	1/28(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	12/24 3名 昼食の交わりをしました。
ユース 岩下兄	未定	LINEで 分かち合い	1/10 10名 食事の交わりをしました。
Rock 鈴木洋兄	1/20(水) 午後8:30	鈴木宅	1/6 4名 非難されるに違いないと決めつけてしまって、伝えられないことであった。
シャローム 平岩姉	1/23(土) 午前10:00	平岩宅	12/26 3名 交わりの時を持ちました。今年1年も主にまもられ過ごせたことを、主に感謝します。
なつめやし 高橋智姉	1/17(日) 礼拝後	高橋宅	12/27 5名 思っていることを隠さず、願いたい。
リジョイス 杉本姉	1/26(火) 午前10:15	赤塚宅	12/22 3名 主の配慮がいつもある事に感謝しました。
ジョイフル 穂苅兄	1/21(木) 午後9:00	Zoomで 分かち合い	1/7 3名 心から愛しありのままを喜んで受け入れます。
アガベ 長塚姉	1/17(日) 練習後	コミュニティ センター	12/27 4名 食事の交わりと今年一年の主の恵みを分かち合いました。
サクセス 鈴木勝兄	1/24(日) 礼拝後	交わり	1/10 11名 娘が自分と母の関係の変わりように驚いていた。
リーダーズ セル	2/10(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	
セル研修	休講		
ビジョン 平岩恵兄	1/17(日) 礼拝後	コメダ	1/10 3名 知識を伝えているだけで、証を伝えていなかったことに気づかされた。
worship 長塚寛兄	中止		
中学生 梅田姉	中止		
キッズ2 小山姉	中止		
キッズ1 芳井姉	中止		
Shine 小原姉	1/24(日) 礼拝後	エステル	1/10 4名 救われた時に、私のために時間を作ってくれ、話を聞いてくれたのを思い出しました。
ギデオン 芳井兄	1/23(土) 午後6:30	芳井宅	1/9 3名 つまらないことで一喜一憂して家の雰囲気が悪くしたことに気がついた。
カルバリ 野田兄	1/19(火) 午前9:00	野田宅 交わり	12/15 5名 心の一致がなかったことに気づきました。神様から召されていることを覚えさせられました。
神の家族 伊岐見真姉	1/23(土) 午後7:30	LINE 電話	1/11 2名 神様に従って生きようとしてきたことが、子供たちにとって生きた証になっている。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会	
		司会	奏楽		奏楽
今週	1/17(日)	大高愛姉	鈴木尚姉	1/21(木)	鈴木尚姉
来週	1/24(日)	大高愛姉	鈴木千姉	1/28(木)	鈴木千姉

※ 本日礼拝後に洗礼式を行います。 祝福をお祈り下さい。

※ 1/19(火)のバイブルスタディは配信で行います。午後1時、7時。
また、Zoomでも受講できます。(昼の部のみ) (Zoomを希望する方はメールで連絡して下さい。申込先 david@revival.jp)

※ 1/20(水)の浜松バイブルスタディは休講です。

祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
 - ▶ 家族知人をキリストへ
 - ▶ 教会近隣の人々の救い
 - ▶ 東海地方の救いのために
 - ▶ 日本の救いのために
 - ▶ 世界の救いのために
- ・働きを覚えて
 - ▶ バイブルスタディの働き
 - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶ リバイバルママズの働き
 - ▶ 那古野アウトリーチの働き
 - ▶ 祈祷会の祝福
 - ▶ 日曜礼拝の祝福
 - ▶ 牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
 - ▶ LTG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜) (第一) 午前 9:00~10:30
(第二) 午前11:00~12:30

キッズセル(子供礼拝) (日曜) 午前 9:00~10:30

日曜礼拝バイブルスタディ (日曜) 午前11:00~12:30
☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。

バイブルスタディ (第1、第3火曜) (昼) 午後 1:00~ 2:30
(夜) 午後 7:00~ 8:30

祈祷会 (木曜) 午後 7:00~ 8:30

特別早天祈祷 (土曜) 午前 6:00~ 7:00



主の御手 週報 NO.1330

2021年1月17日(日)発行 1月第3週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、
(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始 10時

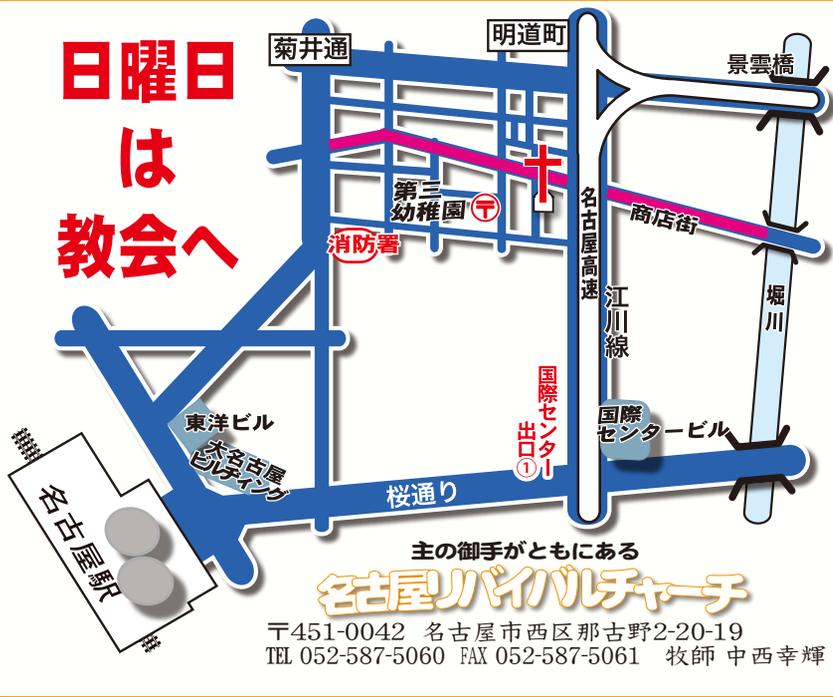
- ・讚美
- ・祈り
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めてのの方はスクリーンをご覧ください。)
- ・連絡

お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることのないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。(ヨハネの手紙 第一 4章10節)

日曜日は教会へ





「ヨハネ4：11
愛する者たち。
神がこれほどま
でに私たちを愛
してくださった
のなら、私たち
もまた、互いに
愛し合うべきで
す。」

家族の日記

この正月、実家へ行った時のことでした。いつものように食事をしながら話をしている中で、父が一冊のノートを持って来て私に見せてくれました。それは家族の日記でした。私の実家は、父、母、私、妹の四大家族で暮らしていましたが、その日記は、私が四歳で、妹が一歳の頃のものでした。父が、家族一人ひとりのその日の様子をノートに記していました。ある日の私の欄には、「最近の食欲は大変なもので、夕食は、ごはんを二杯ペロリと食べ、さらにお菓子とあんパンを食べ、ココアを一杯飲んでから寝たが、以前はこんな事はなかった。妹に刺激されて食欲が湧いてきたのだろうか」と書かれていました。他にも体調が悪くなった時に心配してくれている様子や、私が保育園で友達とケンカして泣いて帰ってきたことなどが記されていました。日記を読みながら、自分は、両親がこんなにも自分のことを愛してくれて

気にかけてくれていたのだという親の愛を、本当には知らないで生きてきたのだということを教えられました。

忘れてしまいたい過去の記憶

私たちは、生まれてから親のもとで少なくとも15年、20年、またそれ以上のとても長い時間を一緒に過ごします。ですから、良くも悪くも親の影響を受けています。私たちが普段、物事を考えたり、判断したり、行動したりすることは、幼少期の育った環境が大きく影響していたりします。当時、親や周りから言われた言葉や、目を見たことを覚えています。例えば、両親から厳しく叱られた時の言葉をずっと覚えていて、何か新しいことにチャレンジしようとしても、「お前にはできないよ」という声を聞いて身構えてしまい、なかなか思い切って行動ができないということがあったりします。そのような遠い過去の苦い記憶は、できることなら忘れてしまいたいと人は考えます。「そんな昔のことは忘れて、今、これから新しく良い人間関係を築いていけばいいのだ」と思ったりします。過去のことを忘れて、将来に望みを持つようしたりします。

愛は家庭の中から始まる

しかし私たちは、まず、自分が生まれ育った環境である家族のところへ戻って、家族との正しい関係を取り戻さなければなりません。家族を愛することから始めなければなりません。愛は家庭の中から始まります。

昨年暮れに鑑賞したある映画のワンシーンが、今でも鮮明に記憶に残っています。その映画の主人公は、歌手デビューを目指して活動している青年です。ある音楽プロデューサーとの出会いから、レコード会社の人たちの前で自分たちのバンドの曲を披露するという大きなチャンスがやってきます。彼は披露した曲に手応えを感じます。しかし、レコード会社の人たちから酷評を受けてしまい、彼は自信を失います。そんな彼のもとに、彼が頼りにしていたプロデューサーがやってきて声をかけます。「とてもいい曲だが何か足りない。自分を偽っているような感じで、時々、本音の自分が出てくる。」と言われました。彼は、父親との関係に問題があったのです。家族に対して暴力をふるっていた父親をとて憎んでいました。彼の心の根底にある怒りや憎しみといったものが、彼の人生や生活に影響していたのです。しかし彼はその後、父親と和解し、彼の作曲した歌は大ヒットしました。

私たちが両親や子供、兄弟など、家庭内で問題を抱えていますと、そのことが生活のあらゆる場面で影響を及ぼしてきます。冷静な判断ができなくなったり、集中して働くことができなくなったり、心から喜びを持って生活することができなくなってしまう。ですから、まず家庭の中で愛し合うという関係が築かれていなければなりません。

愛のある家庭は祝福される

家庭の中で愛が全うされる時に、その家庭は祝福されます。アダムとエバは、人類最初の夫婦であり、人類最初の家庭でした。

この家庭は神によって祝福されました。夫は妻を愛し、家族のために喜んで土地を耕し働いていました。妻は夫を助け、喜んで仕えていました。神と親しく交わり、夫婦の間にも愛の交わりがありました。神の愛が全うされていました。

聖書は、私たちが家族に対してどのように接していくのかについて教えています。夫に対しては、「妻を愛しなさい。妻に対して辛く当たってははいけません。（コロサイ3：19）」と教えています。妻に対しては、「主にある者にふさわしく、夫に従いなさい。（同3：18）」と教え、子供に対しては、「すべてのことについて両親に従いなさい。それは主に喜ばれることなのです。（同3：20）」と教え、親に対しては、「子どもたちを苛立たせてはいけません。その子たちが意欲を失わないようにするためです。（同3：21）」と教えています。家庭の中で愛が全うされるのは、主によって可能なことです。愛は神から出ているからです。まず私たちが神の愛を知り、そしてその愛が家族の中で広がり、その愛が職場や学校などの社会へと広がっていきます。私たちはまず、一番身近な存在である両親、兄弟、夫や妻、子供に対して、愛を持って接することから始めてまいりましょう。

（同3：20）」と教え、親に対しては、「子どもたちを苛立たせてはいけません。その子たちが意欲を失わないようにするためです。（同3：21）」と教えています。家庭の中で愛が全うされるのは、主によって可能なことです。愛は神から出ているからです。まず私たちが神の愛を知り、そしてその愛が家族の中で広がり、その愛が職場や学校などの社会へと広がっていきます。私たちはまず、一番身近な存在である両親、兄弟、夫や妻、子供に対して、愛を持って接することから始めてまいりましょう。